



甲賀の環境・里山元気会 代表
松本源吉さん
(水口町松尾)

自然の大切さ、おもしろさを子どもたちに

四季の変化を実感できる多くの自然、身近な生き物の宝庫、人と自然がつくりあげた独自の地域文化など、多くの魅力を持つ里山。環境問題が広く叫ばれる現在、そんな古きよき日本の風景が見直されています。

水口町松尾に、たくさんの植物、生き物とともに、自然を利用したさまざまな手作りアトラクションを備えた里山があります。高校の体育教諭として教壇に立たれていた松本源吉さん、定年退職後に行っていた地域の環境活動で、年配の方から聞いた「今まで自分たちが頑張って育ててきた山や田畑が荒れていくのを見るのが耐えられない」という言葉が忘れられず、里山の復元、保全を決意。NPO法人甲賀の環境・里山元気会を設立され、現在41名の会員でこの里山の保全に取り組まれています。

ここでは、定期的に地元の保育園児を招くなど、体験活動を実施されています。「子どもたちがここに来ると、本当に楽しそうな表情をしてくれます。子どもたちの笑顔を見ることがとにかくうれしいです。」と松本さん。

里山は放っておくとすぐに荒れるため、日常の手入れが大変だそうです。子どもたちに自然のおもしろさを知ってもらい、そしてそれを何としても次の世代に受け継ぐ、という思いで保全活動が行われています。

「今の時代、遊びも豊富ですが、ここで遊ぶ子どもを見ると、昔も今も子どもは自然が好きだなと実感します。自然の中でいろんな体験をして、もっと自然のおもしろさを知ってほしいです。」と話す松本さん。

これからも、里山に子どもたちの歓声がこだますることでしょう。



▲熱心に行われる保全活動

涼しげな寄せ植えがお出迎え

～甲南高等養護学校が寄贈～

市 役所玄関に備え付けられたかわいい寄せ植え、この寄せ植えは、甲南高等養護学校の生徒の皆さんが作った作品です。
7月17日、同校の生徒代表2名が市役所を訪れ、寄せ植え作品の贈呈が行われました。この作品は、同校が地域との交流の一環として行う農業の授業で作られたもので、水口庁舎、甲南庁舎、あいこが市民ホールに合計6鉢を寄贈いただきました。生徒が丹精込めて作ったかわいい寄せ植え、訪れた方を出迎え、癒しの空間を演出しています。



▲水口庁舎玄関の寄せ植え

アイデア蚊遣り器が大集合

～いまどき、しがらき、かやりき展～

日 本の夏を演出するアイテムで観賞用として人気がある「蚊遣り器」。陶芸の森信楽産業展示館で、「いまどき、しがらき、かやりき展」が開催され、様々な形の蚊遣り器が展示されています。会場にはユーモラスな動物や、果物の形をしたものから、洋間に置いても格好良いモダンなものまで、215点のアイデア蚊遣り器が並び訪れた人を楽しませています。同展示会は10月4日まで開催されています。



▲蚊取線香もデザインの一部に。趣向を凝らした作品の数々

夏休み、楽しい体験を満喫

～夏休み子ども体験DAY～

い ろんな体験で夏休みの1日を楽しむ「夏休み子ども体験DAY」が、8月19日に岩上公民館で行われました。
この日は、科学実験や工作などの体験コーナーに、市内の小学生が参加、楽しく夏休みの1日を過ごしました。なかでも、ジャンボシャボン玉づくりは大人気、大きなシャボン玉をつくり、その中に入る体験にも挑戦しました。また、10年後の甲賀市や、将来の夢を描くメッセーजीコーナーも設け



▲ジャンボシャボン玉に入る児童

られ、児童はそれぞれの夢を大きな模造紙に描きました。
児童は、楽しい体験の1日を満喫、夏休みの素敵な思い出が一つできたようです。

祈りの灯籠で、過ぎ行く夏を楽しむ

～杣川夏まつり～

杣 川夏まつりが8月16日、杣川河川敷で行われました。世界の平和を願い、毎年この日に行われる同まつり。今年も日曜日ともあって、例年にも増して大勢の人がお盆の風物詩を楽しもうと訪れました。
うだるような暑さも収まり始めた夕暮れ、かがり火が空を照らす中、ほら貝の音色が響き、平和への願いが込められた灯籠約600個が流されました。川面をぼんやり照らしながらゆらゆらと流れる灯籠に、訪れた人はその幻想的な風景を楽しみました。



▲川面に揺れる灯籠

また、フィナーレの花火大会では、雰囲気が一転、周りに舞い上がる花火や、杣川に流れ落ちるナイアガラの迫力を楽しみながら過ぎ行く夏を満喫しました。

技術の向上に全国から集まる

水口サマーサッカー研修大会

全 国の高校、大学のサッカー部を招き、試合を通じて技術の向上や交流を図る水口サマーサッカー研修大会が行われました。
同大会は、鹿深サッカー協会の主催で毎年行われています。第34回目となる今回も全国から強豪校が集まり、8月18日から21日に水口スポーツの森など8会場が繰り広げられました。残暑厳しい中、白熱した好勝負の連続に、選手の皆さんは手こたえや課題など、いろんなものをつかみ取ることができたようです。

また、19日には開会式が行われ、チームの代表の方が集まり、情報交換をしながら交流を深めました。



▲熱い戦いに好プレーが続出